

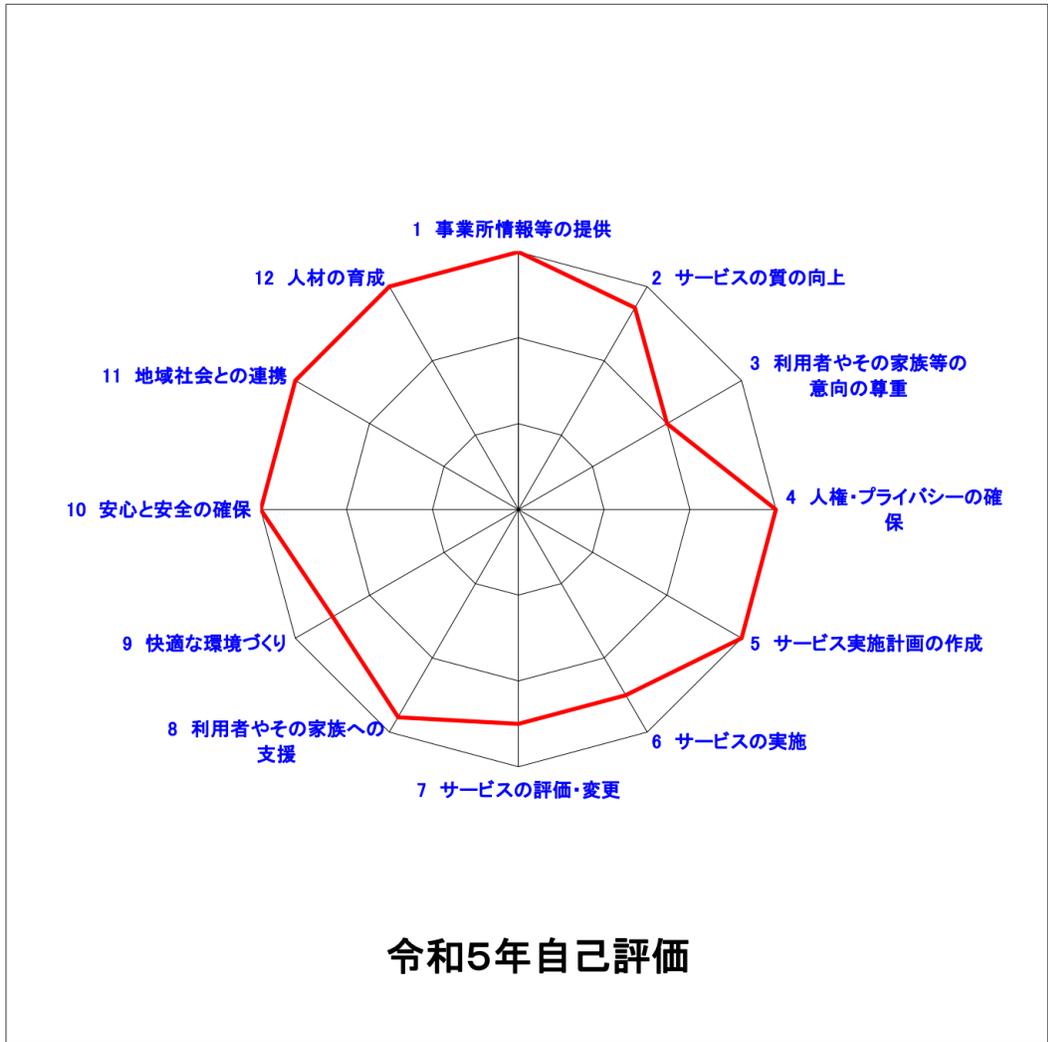


美香苑ショートステイサービス

(事業者番号: 1272600204)

短期入所生活介護(予防)

| |
|--|
| 事業者名 社会福祉法人八千代美香会 |
| 事業所名 美香苑ショートステイサービス |
| サービス名 短期入所生活介護(予防) |
| 評価委員構成 ・施設長 野添 江利子 ・副施設長 鈴木 和豊 ・施設部長兼主任生活相談員 黒田 純一郎 ・生活相談員 山口 久恵 ・介護主任 寺村 保彦 ・看護主任 吉田 裕香子 |
| 評価手順 各職員に自己評価をしてもらった結果、下記の会を経て、評価 令和5年12月20日 各職員に評価依頼 令和6年1月4日 第1回自己評価委員会開催 令和6年1月18日 第2回自己評価委員会開催 |
| 自己評価年月日 令和6年1月18日 |
| 評価責任者 役職名 施設長 |
| 評価責任者 氏名 野添 江利子 |



| 事業所の運営 | | | |
|---|---|---|---|
| 1 事業所に関する情報等の提供 | | | |
| 事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。 | A | B | C |
| 事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。 | A | B | C |
| 「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 ショートステイのご案内資料を元にサービス内容の選択について情報提供している。 | | | |
| 2 サービスの質の向上 | | | |
| サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。 | A | B | C |
| サービスの質の向上への取組に職員が参加している。 | A | B | C |
| サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。 | A | B | C |
| サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。 | A | B | C |
| 職員の資質向上に向けた体制を整備している。 | A | B | C |
| 職員の研修機会を確保している。 | A | B | C |
| 職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。 | A | B | C |
| 「サービスの質の向上」に関する特記 定期的な利用者、家族の意見を聞く機会は十分に確保し、密なやりとりが出来た。中長期的な計画が十分に立てられていないため、市町村福祉計画等に合わせ内容を検討して実施していく必要がある。 | | | |

| 利用者の尊重・保護 | | | |
|---|---|---|---|
| 3 利用者やその家族等の意向の尊重 | | | |
| サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。 | A | B | C |
| 利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。 | A | B | C |
| 行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。 | A | B | C |
| 「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記 特養と共に行事を開催し、利用者の選択において参加いただくことができた。苦情解決については相談報告書、苦情受付書を担当者内で共有し早期対応に努めた。利用者やその家族への説明と同意に関するマニュアルは内容を検討し、準備していきたい。 | | | |
| 4 人権・プライバシーの確保 | | | |
| 人権やプライバシー確保に配慮している。 | A | B | C |
| 個人情報の保護を徹底している。 | A | B | C |
| 身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。 | A | B | C |
| 「人権・プライバシーの確保」に関する特記 身体拘束について今年度、当事業所の対象者はなく実施していない。 | | | |
| サービス実施過程の確立 | | | |
| 5 サービス実施計画の作成 | | | |
| 利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。 | A | B | C |
| 「サービス実施計画の作成」に関する特記 居宅介護サービス計画に基づき、担当者を中心に計画作成している。 | | | |
| 6 サービスの実施 | | | |
| サービスの標準的な実施方法を定めている。 | A | B | C |
| 利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。 | A | B | C |
| 「サービスの実施」に関する特記 マニュアルの内容の見直しを行い、利用者や家族にもわかりやすく説明できるようなサービス実施に生かせるものを作成していきたい。関係職員による事業所内のケース会議に担当者が参加して検討を行うことができた。 | | | |
| 7 サービスの評価・変更 | | | |
| サービス実施に関する評価を行っている。 | A | B | C |
| サービス実施計画の見直しを行っている。 | A | B | C |
| 「サービスの評価・変更」に関する特記 ご利用者の変化、利用状況についてはサービス実施時、実施後にケアマネージャへの報告を行っている。またその経過について相談援助記録を作成している。 | | | |

サービスの適切な実施

8 利用者やその家族等への支援

| | | | |
|---------------------------------|---|---|---|
| サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。 | A | B | C |
| 余暇活動や生きがいづくりへの支援を行っている。 | A | B | C |
| 家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。 | A | B | C |
| 利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。 | A | B | C |
| 利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。 | A | B | C |

「利用者やその家族への支援」に関する特記

感染症の状況に合わせながらも長期のショートステイ利用者などご家族の面会は実施することができている。家族等への情報提供は、利用状況報告書を作成し、毎利用時にご家族に説明の上でお渡ししている。

9 快適な環境づくり

| | | | |
|------------------------------|---|---|---|
| 快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。 | A | B | C |
| 快適な食事環境の整備に配慮している。 | A | B | C |
| 郵便や電話などの通信機会を確保している。 | A | B | C |
| 利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。 | A | B | C |

「快適な環境づくり」に関する特記

間仕切りなどプライバシー保護のための環境整備を検討している。

10 安心と安全の確保

| | | | |
|------------------------------|---|---|---|
| 事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。 | A | B | C |
| 事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。 | A | B | C |
| 衛生管理などを徹底している。 | A | B | C |
| 利用者の健康保持に配慮している。 | A | B | C |

「安心と安全の確保」に関する特記

災害を見込んで実行可能なBCPを見直しし訓練を行う。必要な備品、備蓄も備え定期的を確認していく。

地域等との連携

11 地域社会との連携

| | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|
| 事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。 | A | B | C |
| ボランティアの受入に配慮している。 | A | B | C |

「地域社会との連携」に関する特記

コロナ感染を予防しながら、ボランティアの受入も再開し交流を図る機会が作れた。地域の高齢者の介護予防にも着目し高齢者のボランティアを活用している。

12 人材の育成

| | | | |
|---------------------|---|---|---|
| 実習生を受け入れる体制を整備している。 | A | B | C |
|---------------------|---|---|---|

「人材の育成」に関する特記

総評

特養併設型のショートステイサービスのため、一体的な運営を行っているため特養と評価が重なるところもあります。おおむね出来ているところもありますが、施設における災害対策の見直しやわかりやすい利用案内の作成などに力を入れていきたいと考えています。